

自主防災組織の活動

～避難所運営のポイント・組織の活性化～

大阪府危機管理室災害対策課
防災企画課

PART I

新型コロナウイルス感染症まん延下における避難所運営について

大阪府危機管理室災害対策課

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

避難所運営マニュアル作成指針(新型コロナウイルス感染症対応編)

避難所における感染症対策として、新型コロナウイルス感染症まん延下において大規模な災害が起こった場合には、自宅療養者や濃厚接触者の避難先確保、感染を恐れて避難所へ避難しない方への支援、避難所における3密対策や避難先で咳や発熱症状が出た場合の専用スペース確保など多岐にわたる課題が想定されます。

このため大阪府では、新型コロナウイルス感染症まん延時においても各市町村が感染防止対策の徹底を図り、適切な避難所運営が行えるよう、従前より整備してきた『避難所運営マニュアル作成指針(平成29年3月に改訂)』に加えて、**「新型コロナウイルス感染症対応編」**を新たに作成しました。<http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/hinanzyo-shishin/index.html>

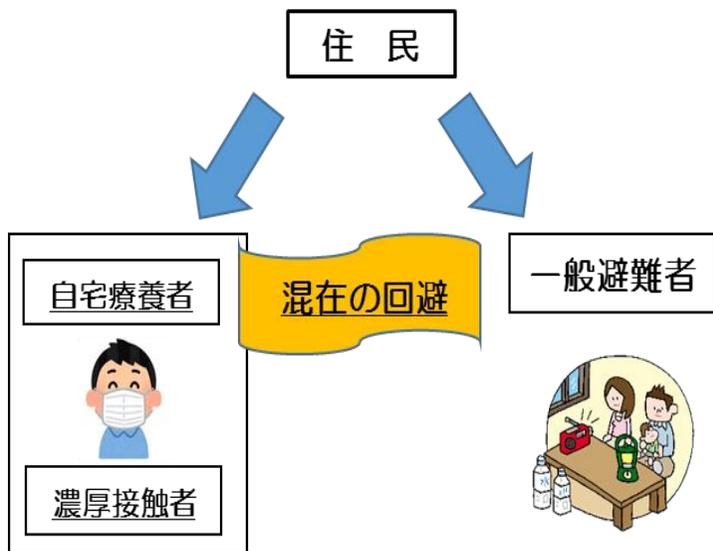
「新型コロナウイルス感染症対応編」(目次)

1. 新型コロナウイルス感染症について
2. 感染防止のための基本的考え方
3. 適切な避難のための事前対策
4. 避難所開設・運営
5. 感染症対応のための避難所開設・運営訓練



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント1. 混在回避



一般避難者と自宅療養者・濃厚接触者の混在回避のために

【行政】

・従来の避難所以外で自宅療養者や濃厚接触者の
専用避難所の確保（廃園になった保育園等）

【避難者】

・**自宅での待機や親戚・友人の家等への避難**の検討

【避難所】

・**ゾーニング**の実施

ポイント2. 必要な物資

非常時持出品に下記のアイテムを追加しておきましょう！

新型コロナウイルス対応の持出品リスト

衛生用品

マスク

台所用洗剤

アルコール消毒薬

手洗い洗剤

体温計

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント3. 避難所の開設・運営

総合受付の設置

- ・一般避難者と自宅療養者・濃厚接触者などを振り分けるための**受付設置**
- ・受付待ちの避難者が身体的距離を確保できるように、**テープやカラーコーンで目印を設置**

衛生環境の確保

- ・避難所の出入口、トイレ周辺、調理場所、食事スペース等に**手指消毒液を設置**
- ・他人と**共用する物品や手が頻繁に触れる箇所**を工夫して**最小限**にする
- ・手指衛生、咳エチケット、3密回避等呼びかける**ポスターの設置**
- ・トイレのふたを閉めて汚物を流すように掲示
- ・**十分な空間**（世帯間で1～2m、一人当たり4㎡程度）を確保



専用スペースの確保

- ・発熱等の症状が出ている人が行動する**ゾーン及び導線分け**を行い、他の避難者との接触を避ける
 - ※例えば、学校の場合、体育館に加え、使用していない空き教室等を含む学校全体のスペースの活用を検討する等、専用スペースの確保に努める
 - ※パーティションや間仕切り、簡易テント、段ボールベッド等の使用も留意

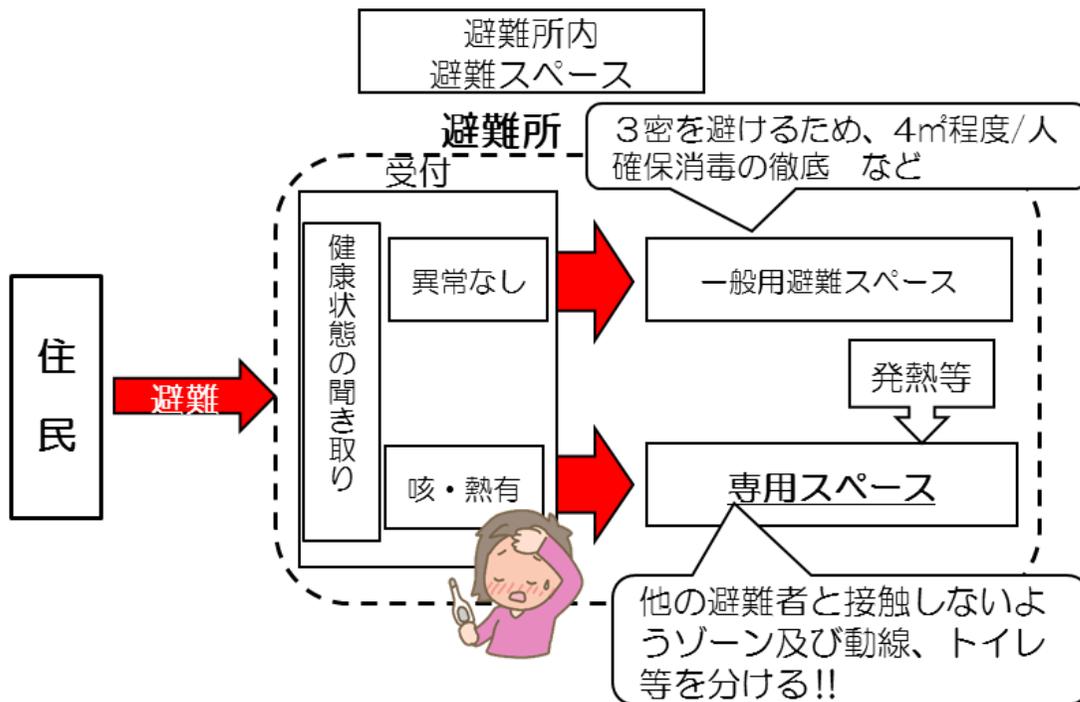
新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント3. 避難所の開設・運営

総合受付の設置

- ・一般避難者と自宅療養者・濃厚接触者などを振り分けるための**総合受付設置**
- ・受付待ちの避難者が身体的距離を確保できるように、**テープやカラーコーンで目印を設置**
- ・受付チェックシートを活用して**発熱、咳、くしゃみ等の症状**がないか聞き取り、**検温**も実施
- ・**症状がなくても受付時からマスクの着用を呼びかける**

避難所での振り分けイメージ

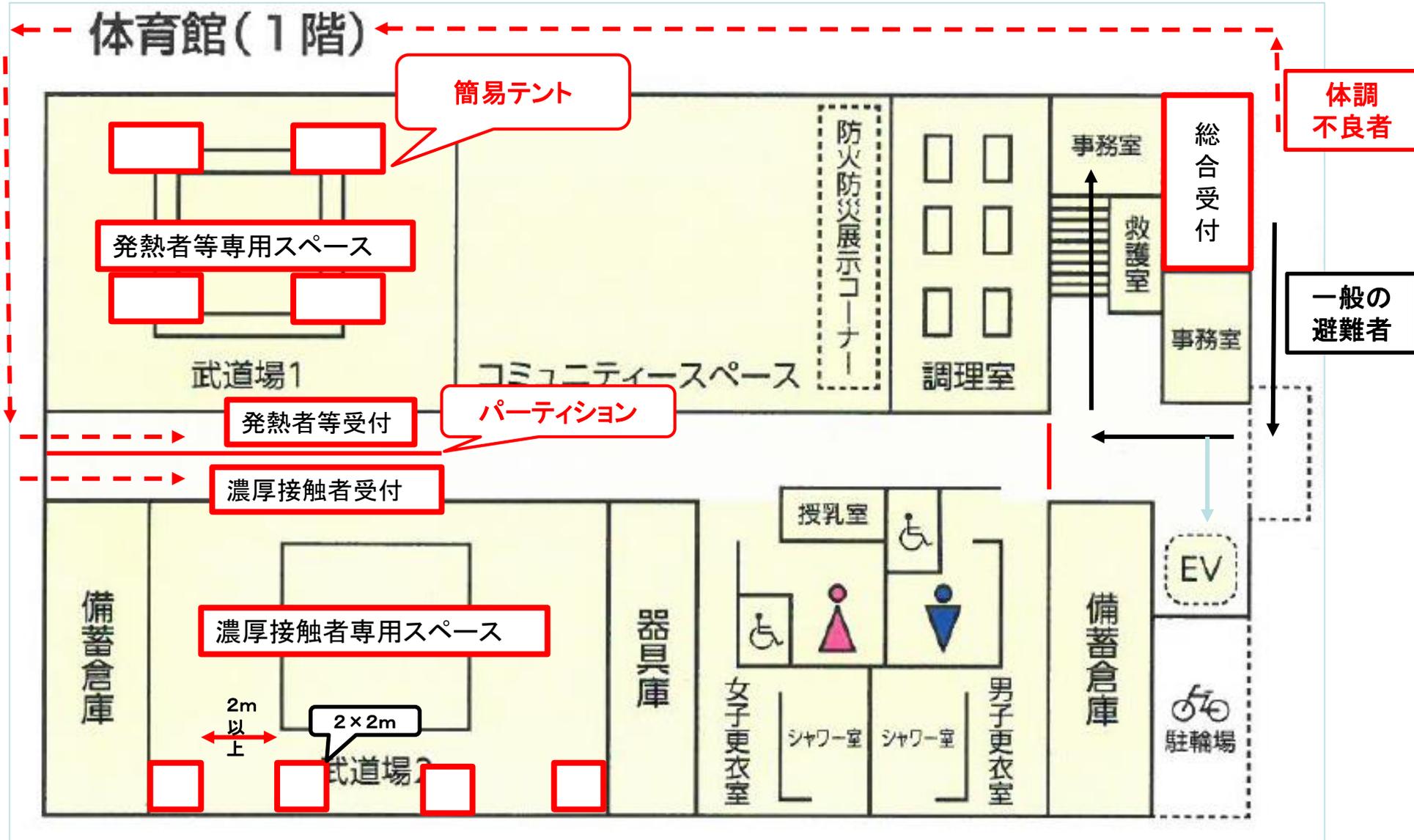


【参考】 受付チェックシート

〇〇 避難所

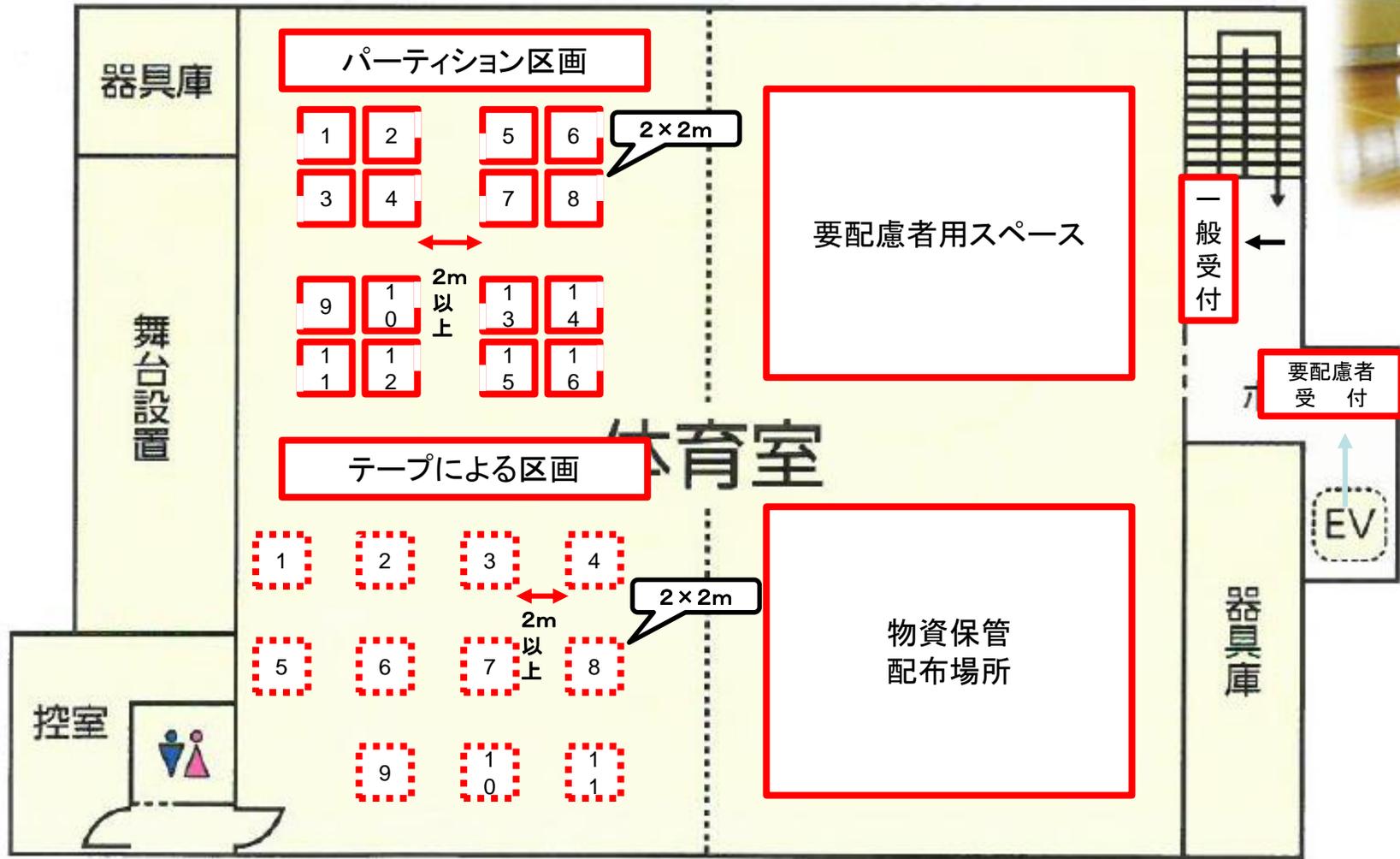
①記入日	年 月 日	②氏名	
③体温	度		
④質問項目			
<input type="checkbox"/>	風邪の症状や発熱が数日間続いている		
<input type="checkbox"/>	強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある		
<input type="checkbox"/>	激しい咳症状がある		
<input type="checkbox"/>	基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患など）がある		
<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス陽性者と判定を受け、経過観察中である		
<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス陽性者と濃厚接触者としたことがあり保健所の経過観察が終わっていない		
<input type="checkbox"/>	直近2週間以内で海外の渡航歴がある		
<input type="checkbox"/>	その他、体調が優れない（味覚・嗅覚異常なども含む）		
⑤その他、備考			

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

体育館(2階)



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

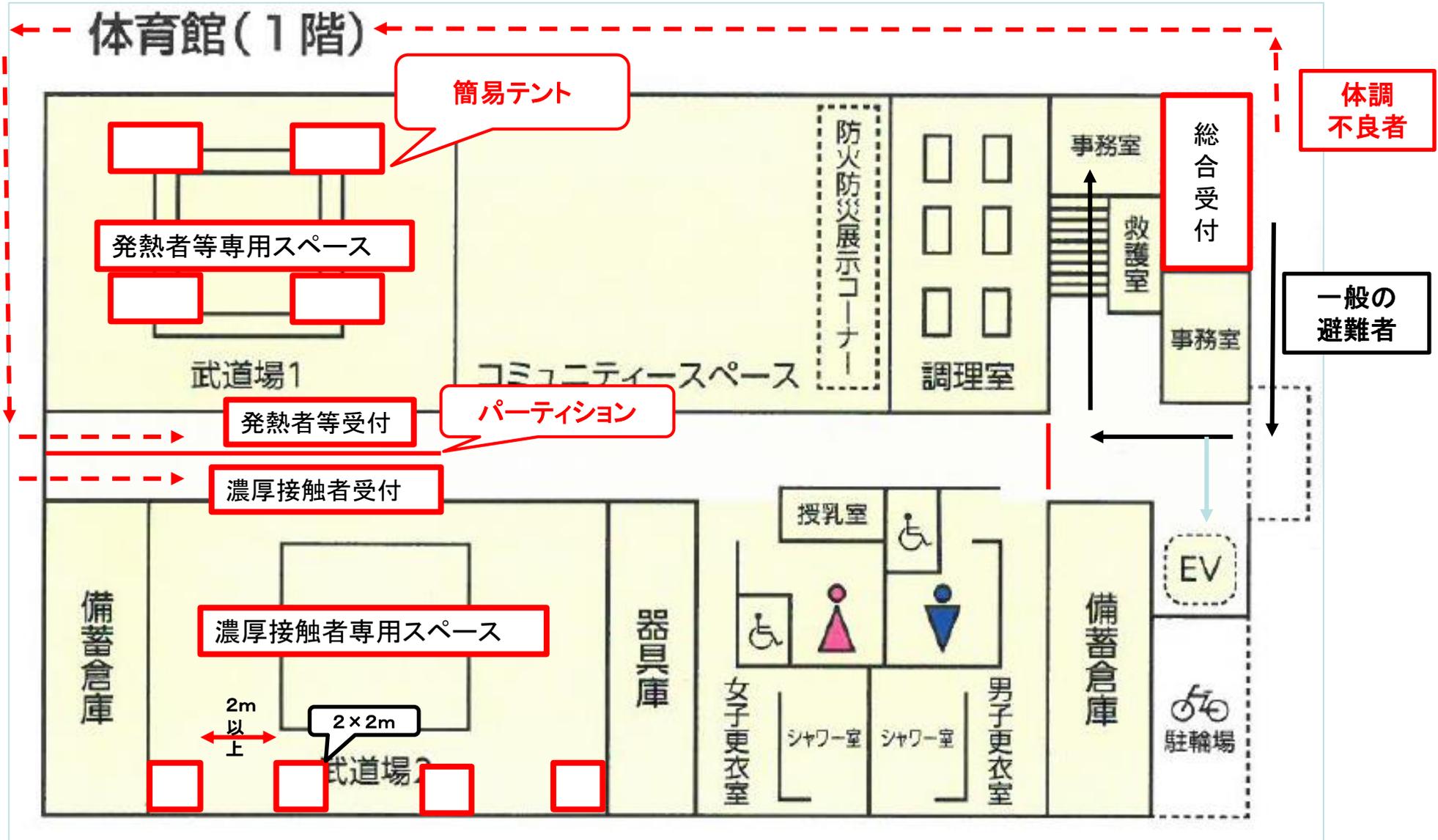
ポイント3. 避難所の開設

専用スペースの確保

- ・発熱等の症状が出ている人が行動する**ゾーン及び導線分け**を行い、他の避難者との接触を避ける
 - ※例えば、学校の場合、体育館に加え、使用していない空き教室等を含む学校全体のスペースの活用を検討する等、専用スペースの確保に努める
 - ※パーティションや間仕切り、簡易テント、段ボールベッド等の使用も留意



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

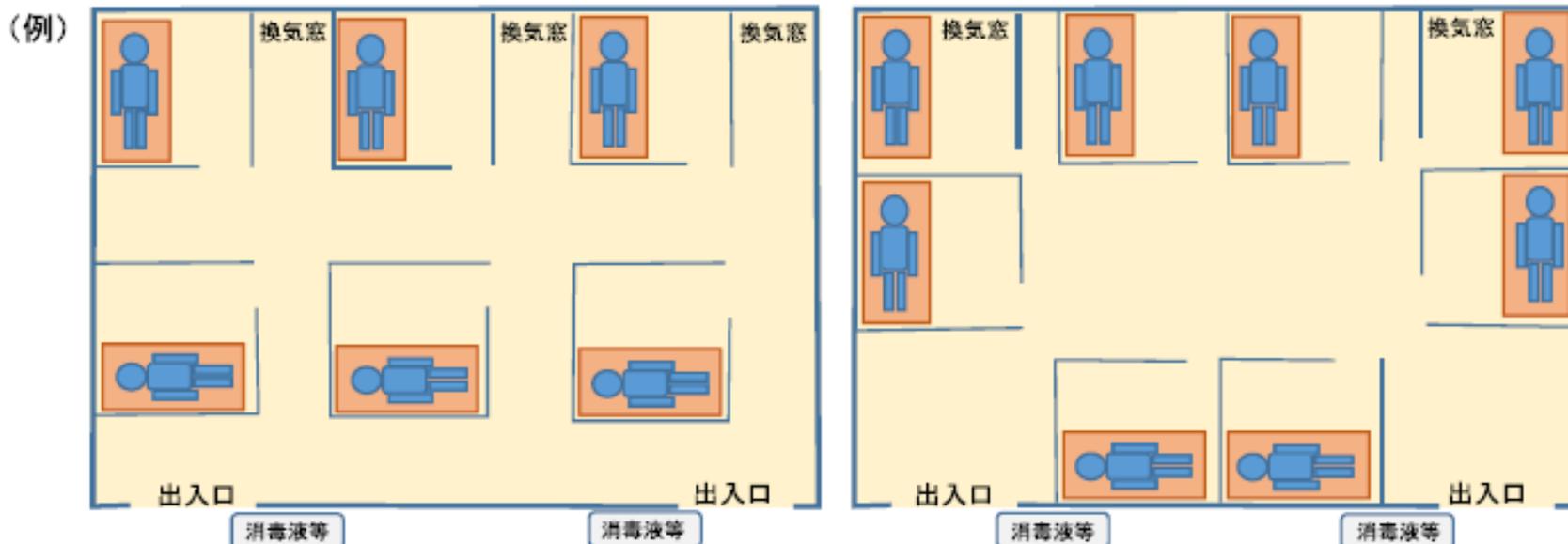


新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

R2. 5. 20
第1版

発熱・咳等のある者や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

- 発熱・咳等のある者は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある者より優先して個室管理とする。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- 軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- 感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

避難者への周知・徹底

- ・**こまめな手洗い、消毒、咳エチケット**の徹底、タオルの共用は避ける
- ・ゴミはビニール袋で密閉して処理するようにする
- ・食事時間をずらすことや対面での食事や会話を控えるなど、**食事時の3密対策**を実施する
- ・30分に1回以上の**十分な換気**(効率的に室内を換気するため、対角方向の窓の開放)
- ・避難所内は**土足厳禁**とし、脱いだ靴を持ち込む場合は用意しておいたビニール袋に個人別に靴を入れる。車いす等の車輪は適宜消毒する
- ・**発熱等の症状が出た場合は、専用スペースに誘導し、医療機関に速やかに相談する**
なお、医療機関へ引き継ぐときに健康状態を確実に伝達できるよう、予め避難者自身に経過観察記録をつけさせることが望ましい。

新型コロナウイルス感染者が発生している場合は、他地域からの広域応援が十分確保できないことが想定されます。住民による避難所の自主運営にご理解とご協力をお願い致します。

PART II

避難所運営におけるトイレ対策 について

令和4年4月に内閣府より以下のガイドラインの改定がありました。

- ・ 避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針
- ・ 避難所運営ガイドライン
- ・ **避難所におけるトイレの確保・運営ガイドライン**

・避難所におけるトイレの確保・運営ガイドライン

(概略)

○災害時における避難所のトイレの確保・管理は
ライフライン（電気・ガス・水道・下水道等）と同様に重要

○災害時におけるトイレの「自助・共助」の取り組み推進を
意識するべき

○配慮すべき事項の検討

- ・安全性
- ・衛生
- ・社会的立場
- ・トイレの必要数
- ・その他

避難所におけるトイレ対策について

人口の約半分は女性であり、地域の防災活動に女性が積極的に参画し、女性の視点に立った災害対応を行うことは、地域の防災力向上につながります。

平時からの災害訓練においても、男女偏りなく参加をすることで、対応が必要なものがみえてくるかもしれません。

トイレ対策についても女性目線での対応は求められます。



<参考>

「女性が力を発揮するこれからの地域防災～ノウハウ・取組事例集～」
ダウンロード：<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/knowhow/pdf/1.pdf>

ワーキングのテーマ

災害時において、避難所内のトイレの確保は必須ですが、トイレの設営・管理において、何を検討すべきでしょうか。メンバーで話しあって、5つの項目別に整理しましょう！

(条件)

- **安全性**
- **衛生**
- **社会的立場**
- **トイレの必要数**
- **その他**

1. 避難所の避難者受入可能数:150名
(一部要支援者も含む)
(1人あたりの使用面積は2~4m²使用)
2. 避難所は1F建てとし、常設のトイレはあるが、災害時は使用できないものとする(避難所は浸水想定区域外で、ライフライン以外は損傷を受けていないものとする)
3. 避難所には仮設トイレが発災後速やかに確保でき、各種消毒液等がある

PART Ⅲ

自主防災組織の活動 ～組織の活性化～について

大阪府危機管理室防災企画課

自主防災組織の活動～組織の活性化～研修の流れについて

1 自主防災組織の現状・課題確認

(組織の活性化、女性リーダーの必要性)

2 組織の活性化、女性リーダーの活動事例紹介

3 ワークショップ①

(組織の活性化、女性リーダーの活動)

4 発表・共有

5 ワークショップ②

(各自の自主防災組織の取組みについて紹介)

6 発表・共有

7 まとめ

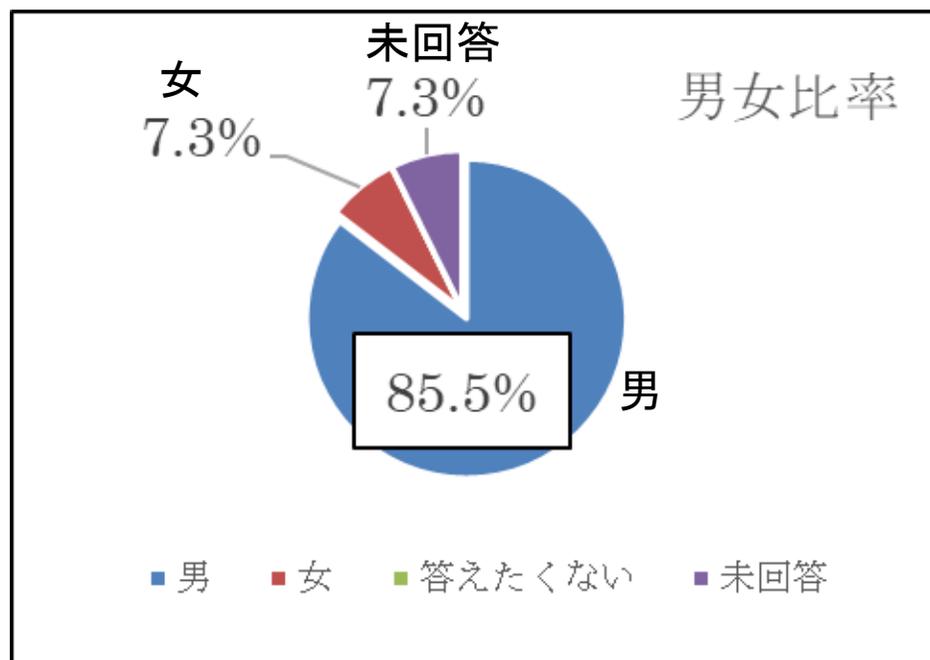


1 自主防災組織の現状・課題確認

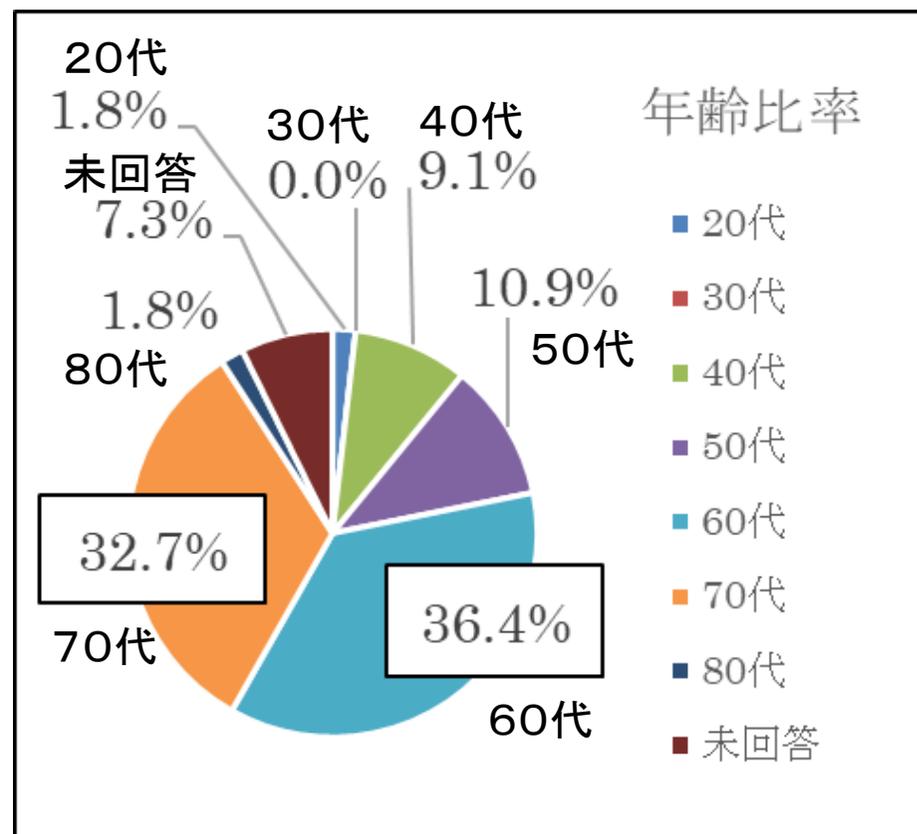
①自主防災組織の現状

令和3年度 自主防災組織リーダー育成研修受講者アンケート結果

(1) 性別



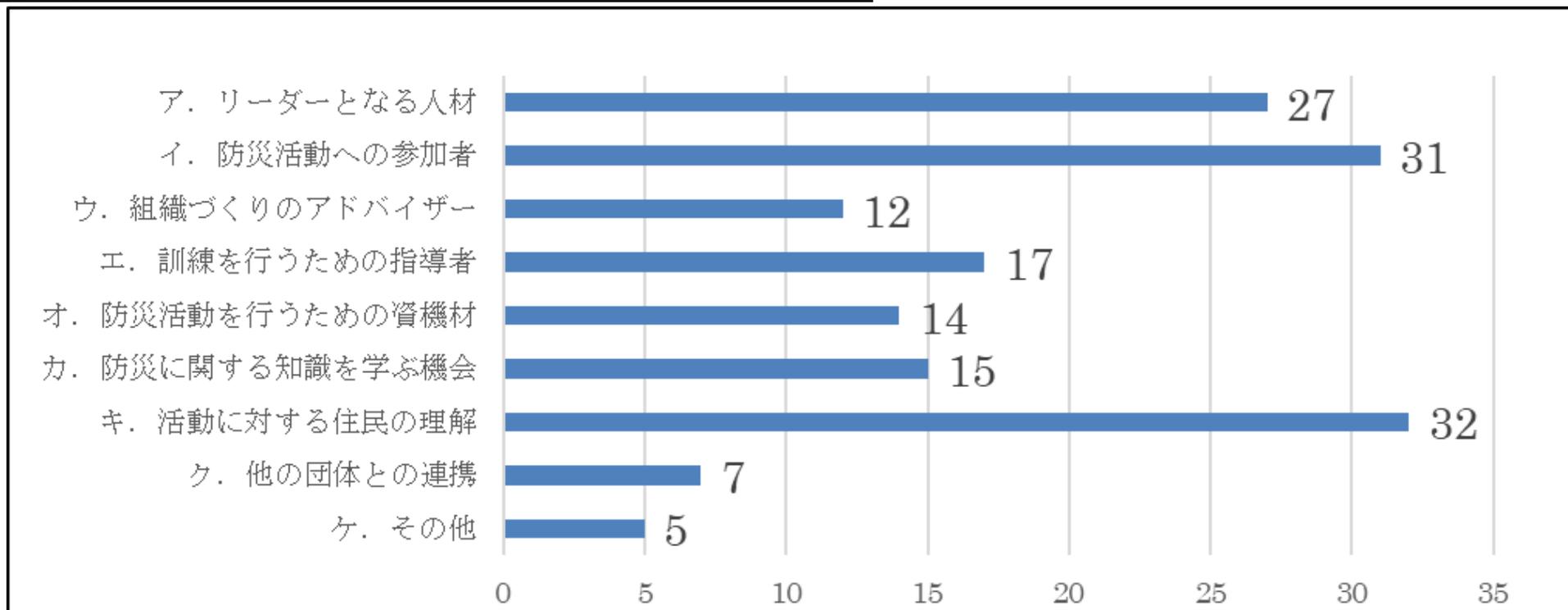
(2) 年齢



1 自主防災組織の現状・課題確認

②自主防災組織の課題

令和3年度 自主防災組織リーダー育成研修受講者アンケート結果 (3) 組織を活性化していくうえで必要と思うもの



【まとめ】 **女性**や**50代以下**の世代の自主防災リーダーが少ない

→自主防災組織の活動に対して、**理解を得る**こと、防災活動に**参加していただく**こと、そして、**リーダー**とな**っていただく**ことで、自主防災組織を**活性化**させることが重要

1 女性リーダーの必要性・自主防災組織の活性化の意義

女性リーダーの必要性

- ・意思決定の場に女性が参画し、防災対策に女性の視点が入ることで、**女性と男性の異なるニーズや課題が適格に把握される**
- ・**女性と男性で異なる被害の影響が軽減**される
要配慮者の支援が充実する
→それにより、**被害全体が縮小する**

出典：「「災害対応力を強化する女性の視点」実践的学習プログラム」（内閣府男女共同参画局）を加工して作成

自主防災組織の活性化の意義

- ・災害リスクの増大と少子高齢化の進展の中で、**自主防災組織がより強くなる**ことが求められています。
- ・**地域防災力の向上**に向けた住民の活動は、**様々なコミュニティ活動の核にもなる**べきものです。
- ・そして、防災をはじめとする地域の安心・安全な暮らしへの関心や意識が、日常生活の中で高まることによって、**自主防災活動が活性化**するとともに、希薄になりつつある地域社会での**連帯意識が醸成**されていくことも期待されます。

出典：「自主防災組織の手引ーコミュニティと安心・安全なまちづくりー」（消防庁）を加工して作成

2 事例紹介①トランプとカルタがひとつになった防災グッズの作成

ポイント1. 自然に楽しく記憶に残す

ポイント2. 地域で作成

トランプとカルタがひとつになった防災グッズ 「十三防災トるた」

「十三防災トるた」とは、災害に対する地域の安心・安全の意識向上を目的に「子ども達に自然に楽しく記憶に残してもらう」事をコンセプトに掲げた、トランプ&かるたが一体化したカードゲームです。

「十三防災トるた」は、十三小の子ども達が主体となり、地域やホームページで読み札を募集しました。

応募いただいた読み札は、どの作品も大変防災意識が高く、選定委員が決めるのが難しいくらいでした。

「防災トるた」を通じて、地域の皆さんが防災・防犯の意識向上が更に強くなればと思います。



十三地域活動協議会
(淀川区)

詳細は
こちら



【実施内容】

・「子どもたちに自然に楽しく記憶に残してもらう」事をコンセプトに掲げたトランプ&カルタが一体となったカードゲームの制作

・地域やホームページで読み札を募集

【活動の成果等】

・応募いただいた読み札は大変防災意識が高かった

・ゲームを通じて、防災・防犯の意識向上に期待

2 事例紹介 ②防災備蓄品展示会&青空マルシェ

ポイント1. 各種地域団体とコラボ

ポイント2. 備蓄品の確認⇒家庭での備え

防災備蓄品展示会&青空マルシェ

清水小学校に保管している備蓄品を地域住民のみなさんに確認していただくことで、災害時における各家庭での備えについて考えていただくきっかけとしていただくことを目的に展示会を開催。

校庭では青空マルシェ（野菜市）や各種地域団体による出店が行われました。

箱が破れている、包装のごく一部に不良品があるといった理由で箱ごと廃棄されてしまう、「もったいない」新鮮な野菜を中央卸売市場で仕入れて販売する「青空マルシェ」は、食品ロスを防ぐSDGsの取組みでもあります。

清水小学校の児童が栽培したさつま芋を使用した焼き芋の販売も行われ、大盛況のイベントとなりました。



詳細は
こちら



 旭区役所 市民協働課（市民協働）
（清水校下地域活動協議会）

【実施内容】

・**避難所の備蓄品**を地域住民のみなさんに**確認**していただく

・青空マルシェ（野菜市）や**各種団体**による出店

・**児童**が栽培したさつま芋の焼き芋販売

【活動の成果等】

・避難所の備蓄品を確認していただくことで、災害時における**各家庭での備え**について考えていただく。

・**多くの方が来場**し、大盛況のイベントとなった。

2 事例紹介

③防災運動会方式訓練

ポイント1. 訓練を楽しむ

ポイント2. 子供から大人まで参加

防災運動会方式訓練

(泉佐野市：佐野台自主防災会)



応急担架による搬送競技



バケツリレー競技

○特徴的な取組内容

●目的

・参加住民が、子供から大人まで防災訓練を楽しみながら、かつ興味を持つことができるように、運動会方式で実施する。

●防災運動会

・応急担架の搬送競技

毛布と物干し竿で応急担架を作成し、負傷者を6人がかりで約25m搬送する。

・バケツリレー競争

10人一組でチーム編成し、バケツリレーで応急タンクの水を運搬、競争する。

・防災クイズ

防災関係の知識を○×のクイズ方式で、正解者の勝ち残り、最終的に残った者に賞品を与える。

【実施内容】

・防災運動会

・応急担架の搬送競技（毛布と物干し竿で応急担架を作成し、搬送する）

・バケツリレー競争（応急タンクの水を運搬する）

・防災クイズ（防災関係の○×クイズ、正解者勝ち残り、賞品を与える）

【活動の成果】

・参加住民が、楽しくかつ、チームワークを重視して実施できた。

2 事例紹介 ④川辺復興プロジェクトあるく

ポイント1. SNSの活用

ポイント2. 女性メンバーが中心

活動事例

岡山県 倉敷市 真備町

10 川辺復興プロジェクトあるく

#SNSの活用 #地域をつなぐハブ組織

組織概要

平成30年7月に発生した西日本豪雨の発災直後から、3名の女性により活動開始。現在は4名の男性を含む20名のメンバーで活動に取り組んでいる。

被災後、地域の住民が安心して暮らしていける地域をつくりたい！

西日本豪雨の発災直後、県外から支援物資を送ってもらえることになりました。そこで、地域の人たちのニーズを知ろうと、パパ・ママ友達20名程度でグループLINEを開設し、それがきっかけで、情報交換が始まりました。

できる人ができることを行っていく中で、被災者自らが被災者を支援することになり、被災後の地域課題を軽減するため団体を発足しました。

メンバーの自宅の片付けが落ち着いた後、子育てや生活の再建と同時に団体の活動を始め、コミュニティの再建とつながりづくりのサロンを行い、現在は、地域の支援拠点となっています。



【実施内容】

・西日本豪雨の**発災直後**、ニーズを知ろうと**グループLINEを開設**、地域の人が必要とする確かな**情報を発信**

・地区に関する**アンケートをGoogleフォームを使って作成**し、**LINEで告知**

(誰もが情報を得られるよう、LINEの使い方講座を開催)

【活動の成果】

・**多様なツールを活用**することで、**多くの人と情報交換や意見収集に成功**

・**多世代の女性メンバーが中心**となり、イベントや取組みに対して**様々なアプローチ**を行い、より**多くの人を巻き込む**

2 事例紹介 ⑤防災リーダー養成講習

ポイント1. 若い世代・女性に呼びかけ

ポイント2. 知識・技術の習得

市町村が、地域の防災リーダーの参画を幅広い世代に促し、育成を図っている事例

【大阪府八尾市の事例】

- 八尾市は、市が中心となり、住民が地域の防災リーダーとして活動する際に必要となる知識や技術を教える、防災リーダー養成講習を令和元年度より実施。
- 自主防災組織の多くで高齢化が進むなか、組織の活性化を図るために、八尾市は、若い世代・子育て世代・女性にも積極的に呼びかけ、参加を促している。
- 講習の修了者には、防災リーダーとして「修了証」の交付と防災リーダーを表す「帽子・ピブス」を配布。
- 令和元年度に69名（うち女性37名）が研修を修了。防災リーダーの育成を通じて、自然災害に対する地域防災力が向上することが期待されている。



防災リーダー養成講習



普通救命講習

出典：消防庁「自主防災組織等のリーダー育成・連携促進支援事業事例集」より一部編集

2

【実施内容】

- ・住民が地域の防災リーダーとして活躍する際に必要となる知識や技術を教える。
- ・高齢化が進むなか、組織の活性化を図るために、若い世代・子育て世代・女性にも積極的に呼びかけ、参加を促している。

【活動の成果等】

- ・令和元年度に69名（うち女性37名）が研修を修了
- ・防災リーダーの育成を通じて、自然災害に対する地域防災力が向上することが期待されている。

出典：令和3年7月からの一連の豪雨災害を踏まえた避難のあり方について（報告） 参考資料2 各地域での活動・取組事例（内閣府）を加工して作成

ワークショップ①組織の活性化、女性リーダーの活動

事例①～⑤を参考に、
皆さんの地域でどのような取り組みをすれば
組織の活性化や、女性リーダーの活動を促進することができるか
前後でお座りの方(2～3人)と話しあってみましょう！

(参考)

- ① トランプとカルタがひとつになった防災グッズの作成
- ② 防災備蓄品展示会 & 青空マルシェ
- ③ 防災運動会方式訓練
- ④ 川辺復興プロジェクトあるく
- ⑤ 防災リーダー養成講習

発表・共有

ワークショップ①で話し合っていたいただいた内容をふまえ、
皆さんの地域でどのような取り組みをすれば
組織の活性化や、女性リーダーの活動を促進することができるか、
発表・共有しましょう！

参考 「災害体験AR」で防災意識を高めよう

ポイント1. 浸水リスク等の可視化

ポイント2. スマートフォン等で身近に体感



災害体験AR QRコード



【内容】

・東京海上日動火災保険株式会社との包括連携協定に基づき、同社が開発したウェブアプリ「災害体験AR」を活用して、浸水リスク等を可視化し、**スマートフォン等で浸水被害の疑似体験ができる**ようになりました。

【活用】

・訓練などの機会に、平時の備えとして、**河川氾濫等が発生した際のリスクをより身近に体感していただく**などご活用ください。

・QRコードを読み取っていただくと本アプリをご利用できます。
(浸水リスクはその地点で最も大きいもので表示されるため、最も近い河川の浸水リスクとは限りませんのでご注意ください)

ワークショップ②のテーマ

皆さんの自主防災組織の取り組みについて
前後でお座りの方(2~3人)に紹介してみましよう！

その際、ペアの相手の方が、
まだ自主防災組織の活動に参加したことがない人と仮定し、
自主防災組織の活動内容の紹介の他、
魅力、アピールポイントなどを伝え、勧誘し、
聞いた人が、ぜひ自主防災組織の活動に参加したいと
思ってもらえるように工夫してみてください！

発表・共有

皆さんの自主防災組織の取り組みの紹介、
魅力、アピールポイント、勧誘方法等について
発表・共有しましょう！

7 まとめ

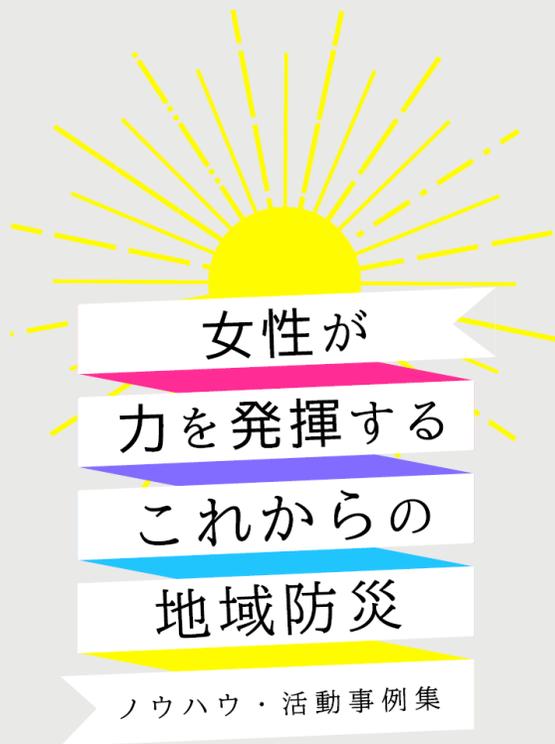
自主防災活動は今後ますます重要！

組織の活性化、女性リーダーの活動等
新しい取り組みにチャレンジ

声かけ、挨拶など、顔が見える地道な関係づくりの継続

自主防災組織の活動を
地域の皆様とともに
楽しんでいただければと思います。





内閣府男女共同参画局

出典：「女性が力を発揮するこれからの地域防災～ノウハウ・取組事例集～」(令和4年3月)(内閣府男女共同参画局)
(<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/kuhow/index.html>)

参考資料2

各地域での活動・取組事例

令和4年2月
令和3年7月からの一連の豪雨災害を踏まえた避難に関する検討会

出典：令和3年7月からの一連の豪雨災害を踏まえた避難のあり方について(報告) 参考資料2 各地域での活動・取組事例(内閣府)を加工して作成
(<https://www.bousai.go.jp/fusuigai/r3hinanworking/index.html>)

市町村及び自主防災組織等における
防災・減災に係る特色ある
取組についての事例集

令和4年2月版
大阪府危機管理室

出典：「市町村及び自主防災組織等における防災・減災に係る特色ある取組についての事例集」(令和4年2月版)(大阪府危機管理室)
(https://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/torikumijirei_portal/index.html#torikumijireisyu)

大阪府

目からウロコな取組満載! ええやん地活協! withコロナ大作戦!



令和3年度みんなの取組事例集 令和4年3月

もくじ

コロナワクチン接種支援 (P.1~2)

- ・大阪市初!地域巡回コロナワクチン接種
- ・予約代行から接種会場への送迎まで!
- ・ワクチン接種サポート事業

オンライン (P.5)

- ・回覧版を電子化!「泉尾東e回覧」&大学生との防災動画の撮影
- ・サラリーマンでも地活協会長はできる!IT化で情報共有をスピードアップ!

防災 (P.3~4)

- ・トランプとカルタがひとつになった防災グッズ「十三防災トランプ」
- ・極寒の避難生活体験!防災一泊訓練
- ・まち歩きハザードマップ作り「防災さんぽ」
- ・選挙日に開催!「避難所公開DAY」

その他 (P.6~8)

- ・芝生deヨガ
- ・防災備蓄品展示会&青空マルシェ
- ・こどもとシニアが「つながるめりえ展 in 都島」
- ・小・中学生に向けた「認知症サポーター養成講座」
- ・たつなんサンタ大作戦!!

出典：「ええやん地活協! withコロナ大作戦! 令和3年度みんなの取組事例集」(大阪府市民局区域支援室) (<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/report/24000014605/>)